長生村議会議員

石井としお通信

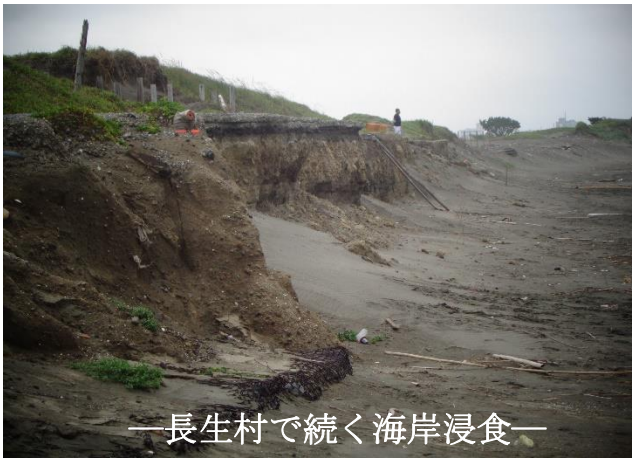
ホームページは「石井としお」で検索

2019 年 9 月 129 号
石井としお後援会発行
部内討議資料
長生村七井土 1387-2
電話 090-3094-0321

「太陽の里海抜 40 ㎝」村答弁 ヘッドランドは危険・中止を

9 月 9 日未明に千葉に上陸した台風 15 号の強風によって県内は停電などの甚大な被害を受けました。熱中症などの健康被害、家屋・農作物への被害をはじめ、日常生活全般に大きな支障がありました。被害を受けた方々に謹んでお見舞い申し上げます。

今号も、台風のさなか開催された 9 月議会（9～11 日）での石井としおの活動の報告をします。議会では平成 30 年度の決算報告を決算審査特別委員会に付託し、一般質問は石井をはじめ岡本、門口、井下田、関、塩谷の各議員 6 名が質問しました。



―長生村で続く海岸浸食―

石井としおの一般質問

1、海岸浸食の原因と対策は

石井議員　大切な観光資源であります、一松海岸の浸食の原因はどこにあるのか、九十九里浜浸食対策検討会議の中での議論、地元関係者からの意見は聞いているのか、県が進めるヘッドランドと離岸堤の建設案の問題点はないのか。

小高村長、九十九里浜の海岸浸食については、これまで実施してきた対策や気象の変化等が波や潮流に影響しているのではと言われていますが、原因究明には至っておりません。九十九里浜侵食対策検討会議は千葉県主催により平成 28 年度から、これまで 4 回開催されており、侵食対策の進め方や基本方針等について議論されてきました。

石井議員、海岸浸食の原因は、屏風ヶ浦や太東岬、河川からの砂の補給が無くなってきたこと、地球温暖化やガス水の汲み上げなども考えられます。地盤沈下について伺います。2006 年 3 月議会では「最近の年間沈下量は 2 センチ以下」と答弁しています。太陽の里地点では「海抜４０センチ弱」とも記憶しています。現在の太陽の里地点の海抜と年間の沈下量を伺います。

下水環境課長、地盤沈下は、千葉県環境生活部で毎年、水準測量を実施している。太陽の里付近の水準点は海抜約４０ｃｍ、沈下量については、平成２７年の１年間で１．７ｍｍの沈下、平成２８年の１年間で６．２ｍｍの沈下、平成２９年の１年間で６．９ｍｍの隆起となっていて、その結果３年間で１ｍｍ沈下しています。

石井議員、地盤沈下の原因の一つにガス水をくみ上げることが対策会議の中でも出ています。地盤沈下を防ぐ為の企業努力がどう行われているのか伺います。

下水環境課長、議員のおっしゃる通り、九十九里地域における地盤沈下の要因の一つは、天然ガスの採取と言われています。その対策として、採取企業は、県との間で、地下水の揚水及び還元に係る計画の作成等を定めた「地盤沈下の防止に関する協定」を締結し、地盤沈下の抑制に努めています。

石井議員、ガス水を組み上げた後に、何割、地下に戻しているのか伺います。

下水環境課長、九十九里全体では1割、本村では2割を戻しています。

※太陽の里では 13 年前と比べてほぼ同じ海抜 40 ㎝でした。一安心です。今後も注意をして調査を継続していただきたいと思います。

石井議員、県は離岸堤を沖合 200 メートル、幅 100 メートルで作る計画案です。地引網が継続できるのか、地元関係者との合意をどう作るのか、伺います。

まちづくり課長、地引網については関係者との話し合いを行い事業実施できるよう、意見を聞いていきます。

石井議員、ヘッドランドを作るようですが、千葉県一宮町で7名、茨城県の海岸でも5年間で 20 名が離岸流などで死亡しています。ヘッドランドは片方で砂が堆積するが、片方は砂を取られて効果も薄い、死亡事故も多いので建設案の中止を県に要望すべきです。

小高村長、海洋学は知りませんが、石井議員の指摘はその通りだと思います。何をすればいいのかです。検討会議も結論がでない。今回、矢板を作っているが、養浜による砂を入れることだと思います。私としてはヘッドランドを作り、離岸堤を作る。地引網ができるよう関係者と協議したい。

※県は「30 年で 40m海岸を伸ばす」と言っています。新なヘッドランドの建設は中止し、撤去も検討すること。離岸堤と合わせて養浜は続けることです。

2、防犯灯・私道路にも設置を

石井議員、個人、自治会から上がった防犯灯の要望 29 件の打ち訳を伺います。

まちづくり課長、村が全域の外灯 LED 化を図った以降の、平成 28 年度からの要望件数の積み上げとなります。内訳は、28 年度が 1 件、29 年度が 7 件、30 年度が 20 件、令和元年度が 1 件の合計 29 件となります。

石井議員、現在の設置基準の考え方では公道は認める。私道は認めないようですが、伺います。

まちづくり課長、現在の設置基準は公道で50m～100m離れていること、交通量の多いところ、事故多発や恐れがある箇所です。尚、私道への設置は認めていません。

石井議員、今後の問題です。私道路であっても公道とつながっていたり、暗くて危険であったりする場合は設置を認めることだと思いますが。

まちづくり課長、最近の犯罪の発生をみますと、過去の状況とはだいぶ様変わりしています。防犯灯は治安対策として効果が期待できる。今、設置基準を検討しています。

石井議員、私道であっても設置しできるようにしていただきたい。いつまでに検討が終わり、適応するのか伺います。

まちづくり課長、来年の 4 月までにはまとめ、実施したいと考えております。

※東京の品川区や稲城市では「公道とつながっていたり、暗くて危険であったりすれば私道路でも認める」ことになっています。

3、原爆の絵展後援拒否は違憲

石井議員、8 月 2 日～4 日に開催した第 7 回原爆の絵展に向けて実行委員会の石井から後援申請を村に申請しました。小高村長より「村長選挙で戦った相手であること。当初予算にも賛成していないので後援しない」との見解でした。後援できない理由はどこにあったのか再度お聞きします。

小高村長、原爆の絵展への後援申請は、石井俊雄議員を申請者とする事前相談がございました。村は各種後援の判断基準として「長生村行事の共催、後援及び協賛に関する規定」を定め、その適否を判断しております。今回の後援申請は「政治的目的を有する」との誤解を招きかねないと判断し、申請者の変更をお願いしました。

石井議員、「村長選挙で戦った相手なので、当初予算に賛成していないから後援できない」であれば、村長選挙立候補への妨害であり、議案賛成の強要にならないのか伺います。

小高村長、政治的活動につながる可能性があると考えました。私は選挙に勝っても、負けても相手に頼むことはない。石井議員を信頼していない、他の方なら後援します。

石井議員、元千葉県弁護士会会長の広瀬理夫弁護士によりますと今回の拒否理由が『村長経験者からの申請であるから』という理由だとすれば、合理的理由とは言えず、その処分は不当、違法な処分に該当する恐れが強い。首長としての権利濫用に該当し、精神的苦痛を受けたことによる慰謝料請求も考えられる」との見解です。小高村長の見解を伺います。

小高村長、私は法律家でないのでとやかく言えない。石井議員は元村長の肩書で原発ゼロの活動をされている。原爆は地球上にあってはならないと思っています。石井さんが原発ゼロ運動をされていると、原爆反対が原発反対につながる恐れがあると考え、後援しなかった。

石井議員、憲法 14 条には「全ての国民は法の下に平等、人種、信条、性別、政治的であにおいても差別されない」と書かれている。石井の申請は後援しない、他の村民の申請は後援するであれば、差別です。憲法違反となります。

小高村長、村の例規集をもとに判断していますので理解ください。

※「村の例規集にも当てはまらない」とする広瀬弁護士の見解。憲法 14 条には「差別をしてはならない」にも違反です。長生村の小高村長は憲法を守らない村長となります。

4、会計年度任用職員に賛成

議案 32 号では会計年度任用職員の条例制定で「年間の総所得が 20 万～40 万アップすること。ボーナスは年間 2.6 か月支給する。4000 円の昇給あり、退職手当 5 万円以上。雇い止めはない」などが確認されたので賛成しました。

5、一般会計補正予算に賛成

議案 42 号は一般会計補正予算の中で、七井土交差点北側と睦沢町部分の排水工事を行う。予算提案がありました。よって排水能力が増えることになり改善が期待されますので、賛成しました。

6、保育料一部無料化に反対

8 月 21 日に議会が開かれ、消費税を 10 月 1 日から 10%に引き上げる代わりに、保育料を一部無料化する議案が小高村長から提案されました。「消費税を 8%から 10%

に引き上げることで多くの家庭では月３千円前後の負担増となります」保育料を一部無料化することは良いことですが、結局、消費税 10%を認めることになります。大企業の内部留保金 449 兆円に税金をかけることです。法人税を引き上げることです。消費税を 10%にしなくても財源はあります。消費税 10%の増税には絶対反対です。

原燃ＰＲセンターを訪問
8 月 17, 18
青森県六ケ所村

六ケ所村の再処理工場で使用済燃料棒の再処理が稼働されると、原発一基一年分の核のゴミが、わずか一日で排ガスとして高さ 150mの排気塔から放出されます。そして、3 キロ先の海中に放出されます。放射性物質は北海道や千葉県銚子沖まで拡散されることになります。排出されたトリチウムなどによってガンや白血病などが心配されます。脱原発をめざす首長会議はむつ市で緊急記者会見を開き「六ケ所村の再処理工場は廃止せよ」「福島の汚染水は海洋放出せず、長期保管の検討をすること」の２点を緊急声明として発表し、経済産業省に提出しました。最終処分場も決まらない中、原発は廃止すべきです。

浅野ふみ子さん善戦

7 月 21 日投開票の参議院選挙・千葉選挙区に市民連合（市民と野党協力）は「立憲民主党の長浜ひろゆきさん、共産党の浅野ふみ子さん」を推薦しました。石井としおは二人当選に向け、重点的に浅野さんを応援しました。自民党が進める消費税 10%に反対、憲法改悪も反対、沖縄辺野古基地建設を強行させない、原発推進の政権を阻止すること、などで意見一致が理由です。結果は長生村では浅野さんが 3 位「当選」でしたが、県選挙区では次点でした。

倒木除去工事
9 月 14 日
信友マリオン団地

停電の原因であった倒木の除去工事が開始されたが遅すぎる復旧工事に現地で「役場の対応に不満です」「お風呂に入りたかった」との声を耳にしました。水口も倒木による停電でしたが除去工事後に電気が復旧しました。

編 集 後 記

◆今回の台風は村内にも甚大な被害をもたらしました。ハウスが飛ばされたり、瓦が飛んだり、倒木による停電が長引く地区もありました。停電でコンビニも閉店、スーパーの食料品棚は空っぽでした。暑さ（寒さ）対策などを含めてあらためて災害への備えを再確認させられました。

◆議会は緊急要望書を村に提出しました。石井としおも 11 日の議会質問で【村民に情報を密に流すこと・広報車をだすこと・民生員はお年寄りに連絡を・福祉センターのお風呂の開設】などを強く要望しましたが村の対応は不十分でした。今後の災害に備え「反省と改善」が求められます。

◆11 月 13 日(水)午後、無料法律相談を行います。石井(090-3094-0321)まで事前申し込み下さい。